



あなたの、いちばんであるために。 2018.7~9月期 No.043

やましん

中小企業景況レポート

山梨信用金庫 経営戦略部
〒400-0032 甲府市中央 1-12-36
TEL 055-225-0213
ホームページアドレス
<http://www.yamasin.jp/>

2018.10.15 発行

■ 調査要領 ■

1. 調査対象
当金庫営業エリア内の取引先中小企業 120社
2. 調査時期・期間
調査時期：2018年9月3日～7日
調査期間：今期実績 2018年7月～9月
来期見通し 2018年10月～12月
3. 調査方法
当金庫職員による訪問聞き取り調査
4. 分析方法
DIを中心に分析

■ 調査対象と回答状況 ■

業種	企業数	回答数	回答率
製造業	30	30	100%
卸売業	15	13	86.6%
小売業	15	15	100%
サービス業	29	28	96.5%
建設業	23	23	100%
不動産業	8	8	100%
合計	120	117	97.5%

※ 国中地区 71社、東部地区 29社、相模原市周辺地区 17社

※ DI (Diffusion Index) とは

各質問事項で「良い(増加)」とした企業割合－「悪い(減少)」とした企業割合の構成比との差(判断DI)による分析です。例えば、回答が以下のような場合のDIの算出方法は、次のとおりです。

(例)「良い・やや良い」の回答が50%、「変わらず」の回答が30%、「悪い・やや悪い」の回答が20%の場合

DIは50「良い・やや良い」－20「悪い・やや悪い」＝+30となります。DI値が高いほど景気が良いことを示しています。

業況判断DI

業種	前期	今期実績			来期見通し		
		良い	悪い	DI	良い	悪い	DI
総合	▲0.9	27.3	24.7	2.6	24.7	17.9	6.8
製造業	3.4	30.0	36.6	▲6.6	26.6	23.3	3.3
卸売業	▲14.3	30.7	23.0	7.7	7.6	15.3	▲7.7
小売業	20.0	33.3	26.6	6.7	46.6	13.3	33.3
サービス業	▲3.7	21.4	25.0	▲3.6	21.4	21.4	0.0
建設業	0.0	30.4	13.0	17.4	21.7	8.6	13.1
不動産業	▲28.5	12.5	12.5	0.0	25.0	25.0	0.0

業種別景気天気図

業種	前期	今期	見通し
総合			
製造業			
卸売業			
小売業			
サービス業			
建設業			
不動産業			

※本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。また、掲載資料は、正確性・完全性を保証するものではありません。

31以上	11~30	10~▲10	▲11~▲30	▲30未満

概況

<業況・売上・収益>

今期（7～9月）のD Iをみると、業況判断D I（「良い」－「悪い」）は、前期（4～6月）の▲0.9から2.6と3.5ポイント改善（前年同期比5.2ポイント改善）しました。売上D I（「増加」－「減少」）は、9.5から14.5と同5.0ポイント改善（前年同期比0.5ポイント改善）、収益D I（「増加」－「減少」）は9.5から8.5と同1.0ポイント悪化（前年同期比6.8ポイント改善）となりました。

業況D Iについては、製造業、小売業で悪化したものの、不動産業が▲28.5から0.0と同28.5ポイント改善したほか、卸売業、サービス業、建設業においても改善したことが要因となっています。

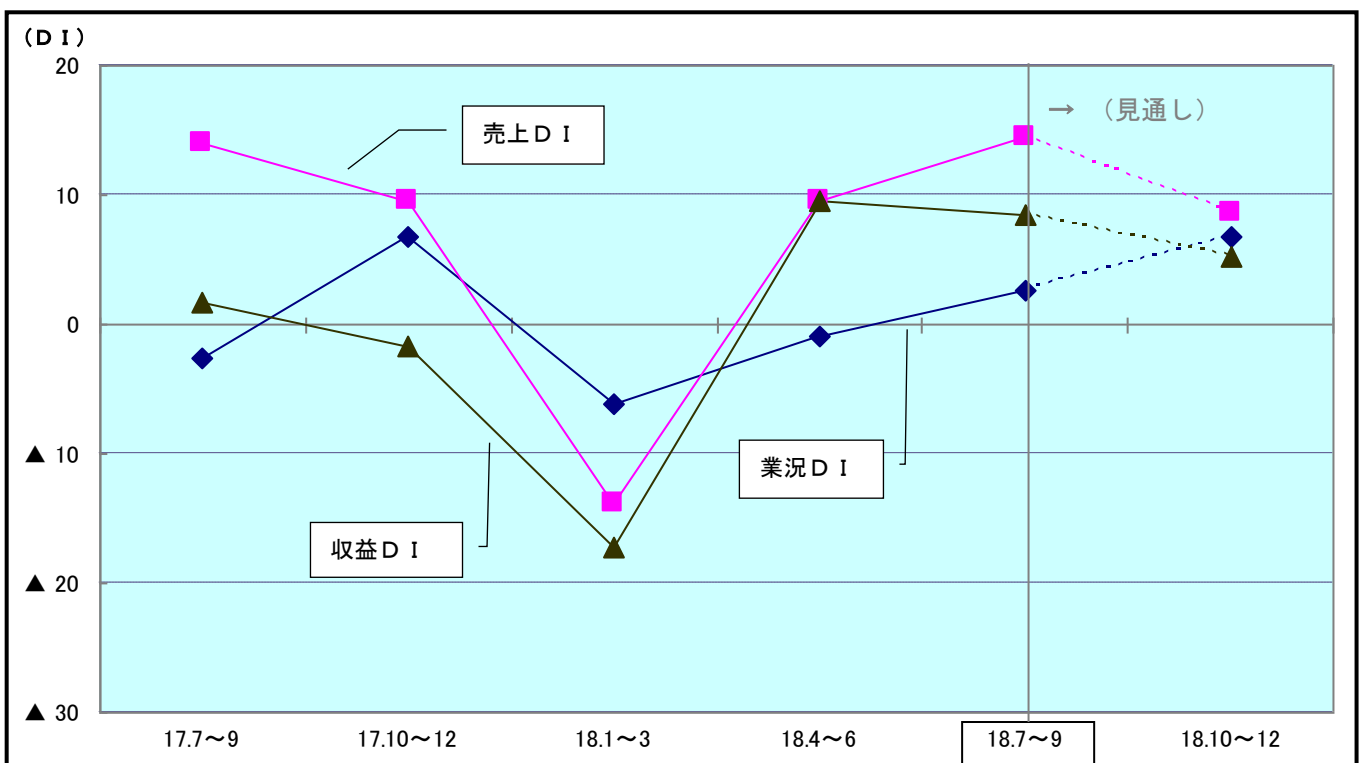
売上D Iについては、卸売業、サービス業、不動産業で悪化したものの、製造業、小売業、建設業で改善したことが要因となっています。

収益D Iについては、製造業、建設業で横ばい、卸売業、小売業で改善したものの、サービス業、不動産業で悪化したことが要因となっています。

全業種総合の来期見通し（10～12月）をみると、業況判断D Iが2.6から6.8と今期実績比4.2ポイント改善が見込まれています。また、売上D Iは14.5から8.6と同5.9ポイント悪化、収益D Iは8.5から5.2と同3.3ポイント悪化が見込まれています。業種別の業況判断D Iは、卸売業、建設業で悪化が見込まれているものの、不動産業で横ばい、製造業、小売業、サービス業においては改善が見込まれています。

■ 業況・売上・収益D Iの時系列推移

	17.7～9	17.10～12	18.1～3	18.4～6	18.7～9	18.10～12見通し
業況D I	▲2.6	6.8	▲6.1	▲0.9	2.6	6.8
売上D I	14.0	9.5	▲13.8	9.5	14.5	8.6
収益D I	1.7	▲1.7	▲17.2	9.5	8.5	5.2



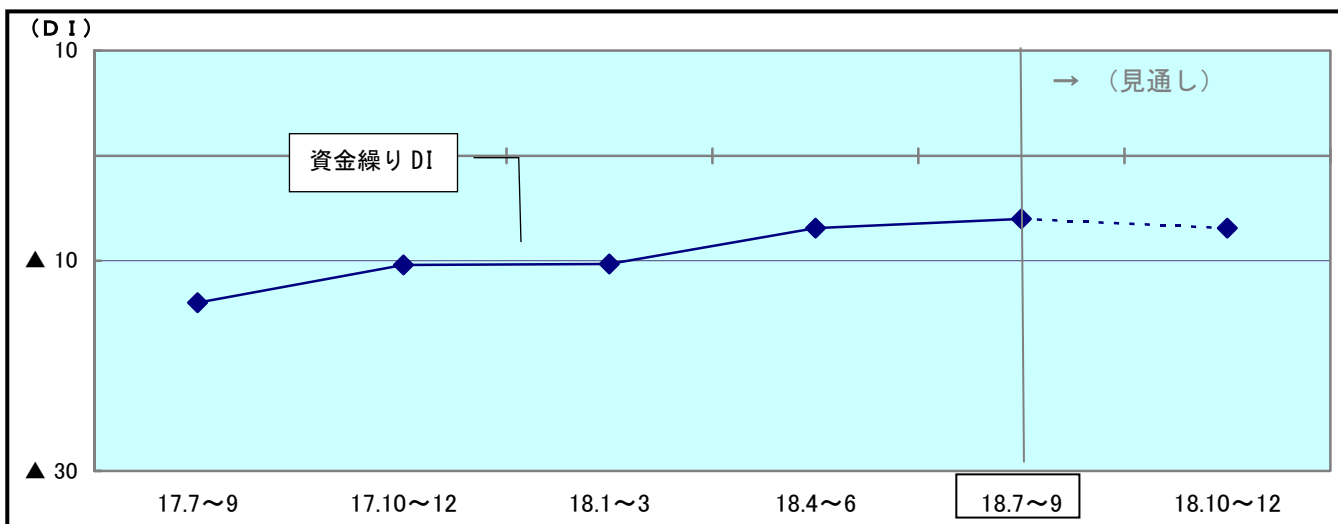
<資金繰り>

資金繰りDI（「楽」－「苦しい」）は▲6.0と、前期比0.9ポイントの改善となりました（前年同期比8.0ポイント改善）。

また、来期の資金繰りDIは▲6.9と、今期実績比0.9ポイントの悪化が見込まれています。

■ 資金繰りDIの時系列推移

	17.7~9	17.10~12	18.1~3	18.4~6	18.7~9	18.10~12 見通し
資金繰りDI	▲14.0	▲10.4	▲10.3	▲6.9	▲6.0	▲6.9



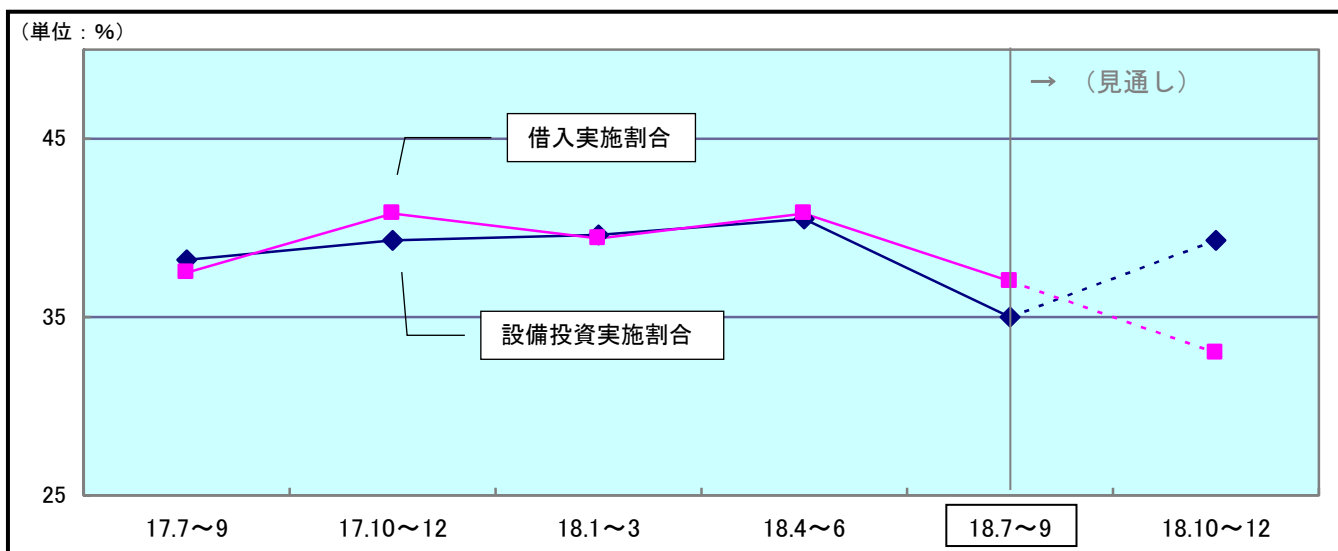
<設備投資・借入動向>

不動産業を除いた設備投資実施企業割合は35.0%と、前期比5.5ポイント低下しています（前年同期比3.2ポイント低下）。また、来期の設備投資実施予定企業割合は39.3%と、今期実績比4.3ポイントの上昇が見込まれています。

全業種総合の借入実施企業割合は37.0%と、前期比3.8ポイント低下しています（前年同期比0.5ポイント低下）。また、来期の借入実施予定企業割合は33.0%と、今期実績比4.0ポイントの低下が見込まれています。

■ 設備投資・借入実施動向の時系列推移

	17.7~9	17.10~12	18.1~3	18.4~6	18.7~9	18.10~12 見通し
設備投資実施割合	38.2%	39.3%	39.6%	40.5%	35.0%	39.3%
借入実施割合	37.5%	40.8%	39.4%	40.8%	37.0%	33.0%



【製造業】

【今期】業況、資金繰りD Iは前期（4～6月）比で悪化したものの、収益D Iは横ばい、売上D Iは改善となりました。経営上の問題点として前回調査同様「人手不足」が上位となっており、人材の確保や定着化が難航していることが窺えます。

【来期】業況、資金繰りD Iは今期実績比で改善を見込んでいるものの、売上、収益D Iは悪化が見込まれています。当面の重点経営施策として、「人手不足」や「売上の停滞・減少」を背景に「人材の確保」、「販路の拡大」を掲げる企業が半数となる結果となりました。

■経営上の問題点（）内は前回順位

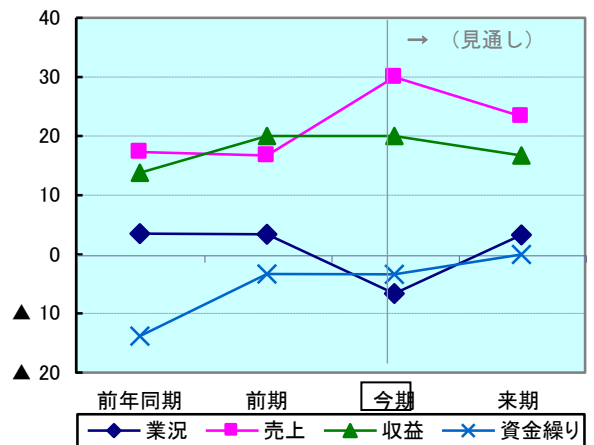
1	人手不足(1)	43.3%
2	売上の停滞・減少(2)	26.7%
	利幅の縮小(4)	26.7%

■当面の重点経営施策

1	人材の確保(1)	50.0%
	販路の拡大(2)	
3	経費の削減(3)	36.7%

■主要D Iの推移

	前年同期	前期	今期	来期
業況	3.5	3.4	▲6.6	3.3
売上	17.3	16.7	30.0	23.3
収益	13.8	20.0	20.0	16.7
資金繰り	▲13.8	▲3.3	▲3.4	0.0



【卸売業】

【今期】売上D Iは前期（4～6月）比で悪化したものの、その他のD Iで改善となりました。経営上の問題点としては前回調査同様「売上の停滞・減少」、「利幅の縮小」、「取引先の減少」を挙げる企業が多く、売上、収益ともに苦慮している企業が多いことが窺えます。

【来期】売上D Iは今期実績比で改善を見込んでいるものの、その他のD Iで悪化を見込んでいます。重点経営施策として、売上の増強のため、「販路の拡大」や「品揃えの充実」を掲げる企業が多く、また、収益の確保のため、「経費の削減」を掲げる企業も多い結果となりました。

■経営上の問題点（）内は前回順位

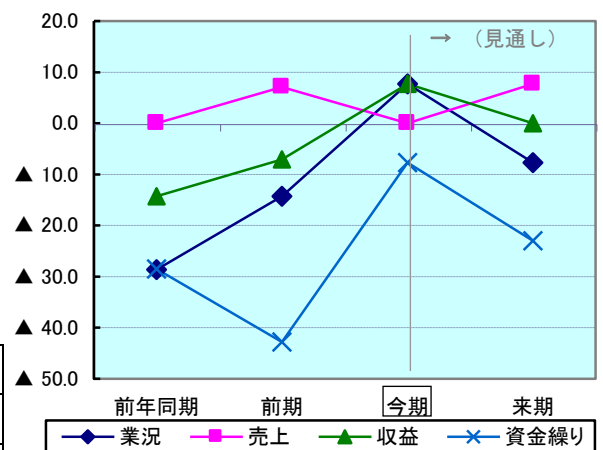
1	売上の停滞・減少(1)	38.5%
2	利幅の縮小(2)	30.8%
	取引先の減少(3)	30.8%

■当面の重点経営施策

1	販路の拡大(1)	69.2%
2	経費の削減(2)	38.5%
3	品揃えの充実(3)	30.8%
	人材の確保(3)	

■主要D Iの推移

	前年同期	前期	今期	来期
業況	▲28.6	▲14.3	7.7	▲7.7
売上	0.0	7.1	0.0	7.7
収益	▲14.3	▲7.1	7.7	0.0
資金繰り	▲28.5	▲42.8	▲7.7	▲23.0



【小売業】

【今期】業況、資金繰りDIは前期（4～6月）比で悪化したものの、売上、収益DIは改善となりました。経営上の問題点として「売上の停滞・減少」と回答した企業が最も多く、次いで「人手不足」と回答した企業が多い結果となりました。

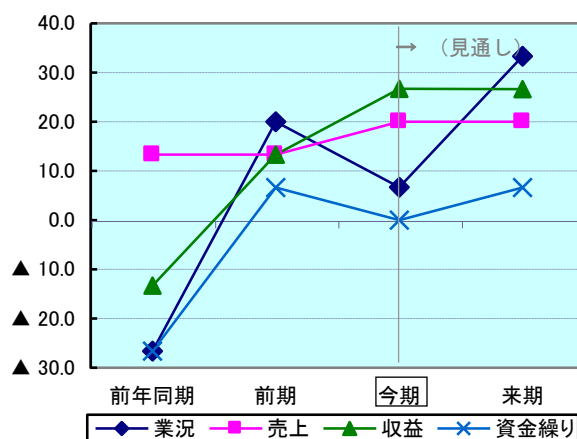
【来期】収益DIは今期実績比で悪化を見込んでいるものの、売上DIは横ばい、業況、資金繰りDIは改善を見込んでいます。売上の増強のため、「人材の確保」や「品揃えの充実」を当面の重点経営施策として掲げる企業が多い結果となりました。

■経営上の問題点（）は前回順位 ■当面の重点経営施策

1	売上の停滞・減少(1)	46.7%	1	人材の確保(1)	33.3%
2	人手不足(2)	33.3%		品揃えの充実(2)	
				経費の削減(4)	

■主要DIの推移

	前年同期	前期	今期	来期
業況	▲26.6	20.0	6.7	33.3
売上	13.3	13.3	20.0	20.0
収益	▲13.3	13.3	26.7	26.6
資金繰り	▲26.6	6.6	0.0	6.6



【サービス業】

【今期】売上、収益DIは前期（4～6月）比で悪化したものの、業況、資金繰りDIは改善となりました。経営上の問題点で前回調査同様に「人手不足」を問題点として挙げる企業が多いなか、「売上の停滞・減少」、「材料価格の上昇」といった売上、収益面での問題点も窺えます。

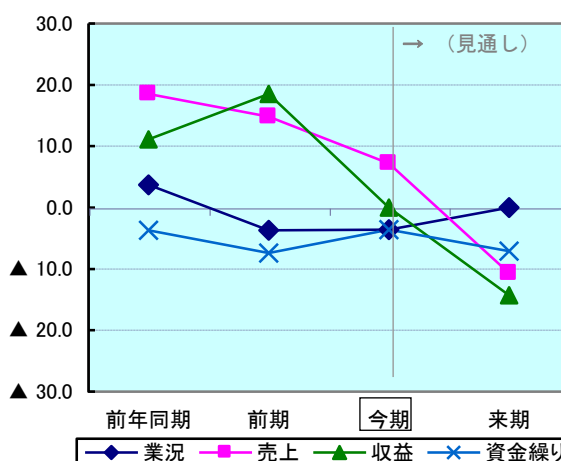
【来期】業況DIは今期実績比で改善を見込んでいるものの、その他のDIは悪化が見込まれています。当面の重点経営施策としては人手不足解消に向けて、「人材の確保」や売上、収益を増強するため、「販路の拡大」、「経費の削減」を掲げる企業が多い結果となりました。

■経営上の問題点（）は前回順位 ■当面の重点経営施策

1	人手不足(1)	57.1%	1	人材の確保(1)	46.4%
2	売上の停滞・減少(2)	35.7%		販路の拡大(3)	
3	材料価格の上昇(4)	21.4%	3	経費の削減(2)	39.3%

■主要DIの推移

	前年同期	前期	今期	来期
業況	3.7	▲3.7	▲3.6	0.0
売上	18.5	14.8	7.2	▲10.7
収益	11.1	18.5	0.0	▲14.3
資金繰り	▲3.7	▲7.4	▲3.6	▲7.1



【建設業】

【今期】資金繰りDIは前期（4～6月）比で悪化したものの、収益DIは横ばい、業況、売上DIは改善となりました。公共工事が始まったこと等により、売上を伸ばしている企業があるなか、「人手不足」や「下請の確保難」等の問題を抱えている企業が多く窺えます。

【来期】収益DIは今期実績比で改善を見込んでいるものの、その他のDIで悪化を見込んでいます。当面の重点経営施策としては売上、収益を増強するため、「人材の確保」や「技術力の強化」を掲げる企業が多い結果となりました。

■経営上の問題点（）は前回順位

1	人手不足(4)	43.5%
2	下請の確保難(5)	34.8%
3	同業者間の競争の激化(1)	30.4%
	利幅の縮小(8)	

■当面の重点経営施策

1	人材の確保(2)	52.2%
2	技術力の強化(1)	43.5%
3	販路の拡大(3)	39.1%
	情報力の強化(3)	

【不動産業】

【今期】売上、収益DIは前期（4～6月）比で悪化したものの、資金繰りDIは横ばい、業況DIは改善となりました。経営上の問題点として「商品物件の不足」や「売上の停滞・減少」が多く挙げられており、地価が上昇する地域もある中、優良物件を探すことに苦慮している企業が多いことが窺えます。

【来期】売上DIは今期実績比で改善を見込んでおり、その他のDIで横ばいを見込んでいます。「商品物件の不足」を改善し、売上を増強するため、「情報力の強化」を当面の重点経営施策として掲げる企業が多い結果となりました。

■経営上の問題点（）は前回順位

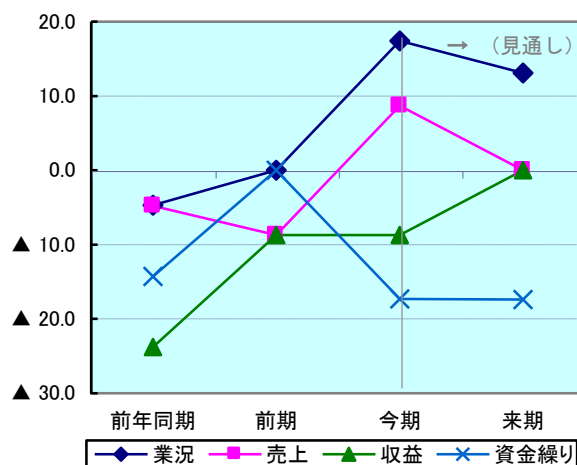
1	商品物件の不足(1)	62.5%
	売上の停滞・減少(2)	

■当面の重点経営施策

1	情報力の強化(2)	62.5%
2	販路の拡大(1)	50.0%
	宣伝・広告の強化(4)	

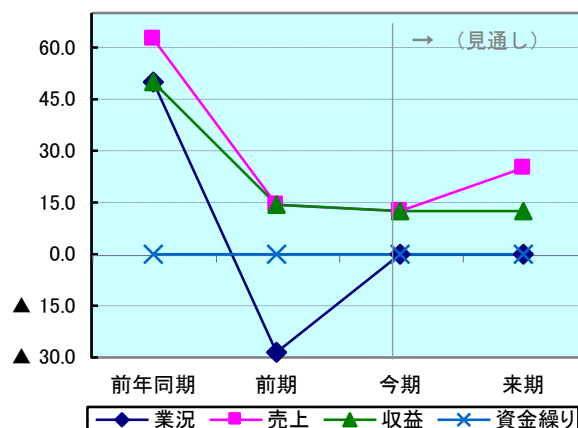
■主要DIの推移

	前年同期	前期	今期	来期
業況	▲4.7	0.0	17.4	13.1
売上	▲4.8	▲8.7	8.7	0.0
収益	▲23.8	▲8.7	▲8.7	0.0
資金繰り	▲14.3	0.0	▲17.3	▲17.4



■主要DIの推移

	前年同期	前期	今期	来期
業況	50.0	▲28.5	0.0	0.0
売上	62.5	14.3	12.5	25.0
収益	50.0	14.3	12.5	12.5
資金繰り	0.0	0.0	0.0	0.0



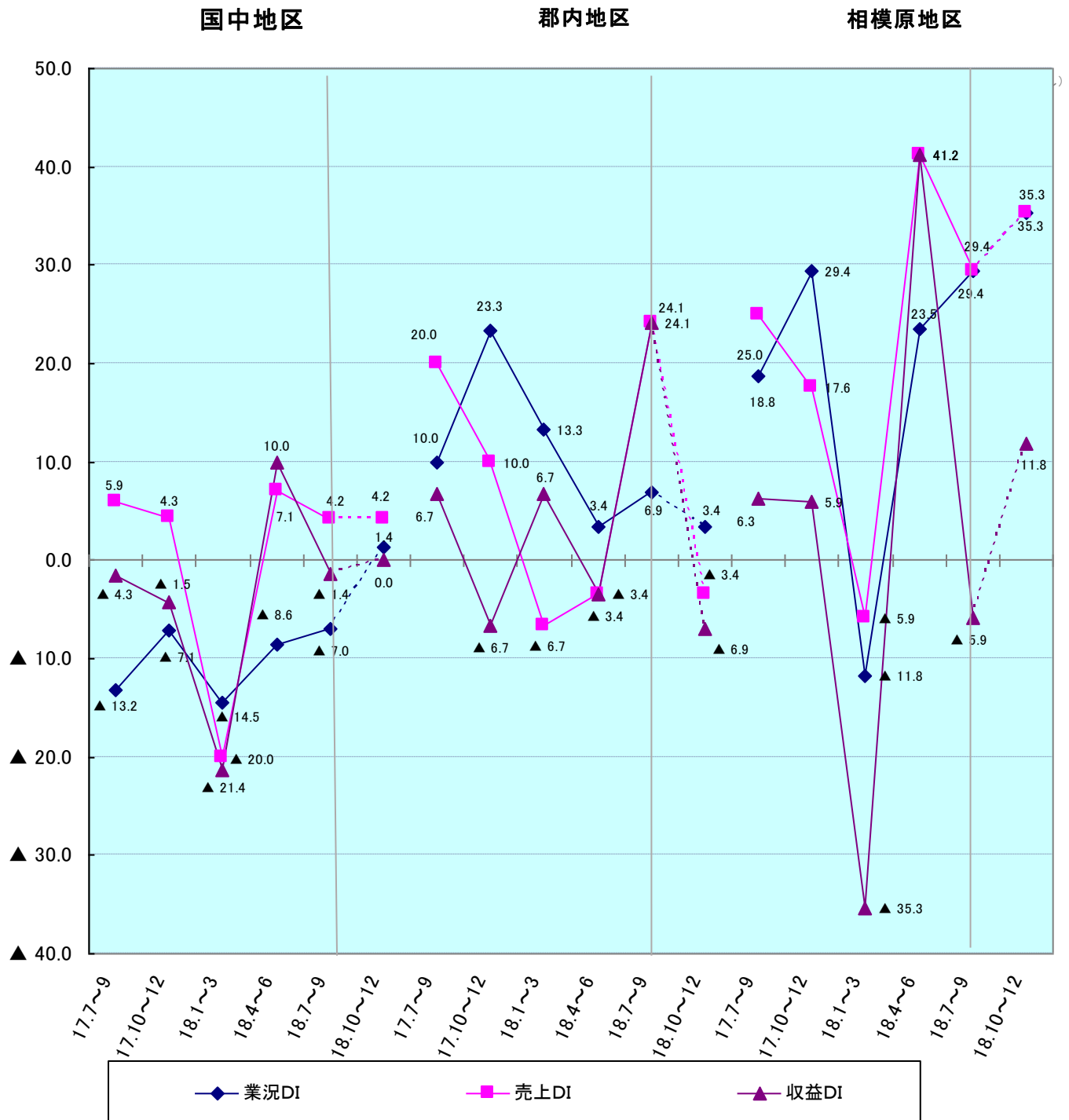
<地区別D I の状況>

国中地区においては、売上、収益D Iが前期（4～6月）比で悪化したものの、業況D Iは▲8.6から▲7.0と同1.6ポイント改善となりました。

郡内地区においては、すべてのD Iで改善となりました。

相模原地区においては、売上、収益D Iで悪化したものの、業況D Iが23.5から29.4と同5.9ポイント改善となりました。

来期の見通しについては、郡内地区はすべてのD Iで悪化を見込んでいるものの、国中地区、相模原地区はすべてのD Iで改善、横這いを見込んでいます。



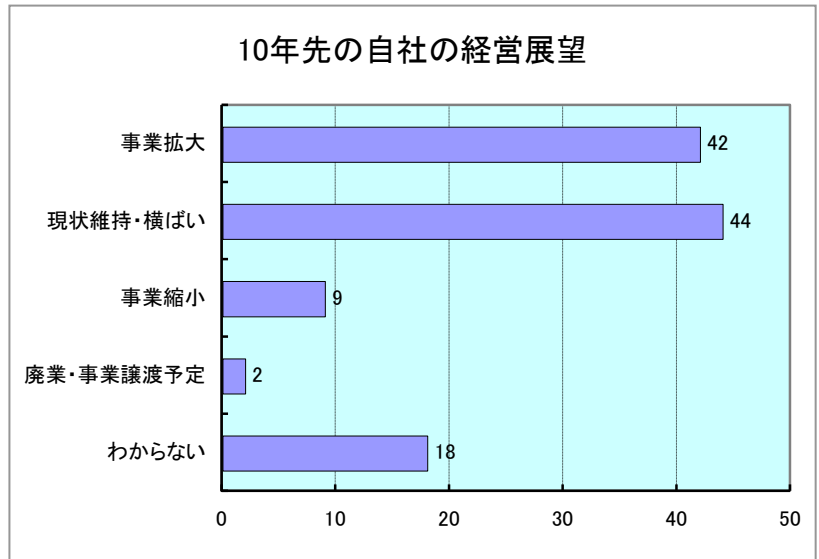
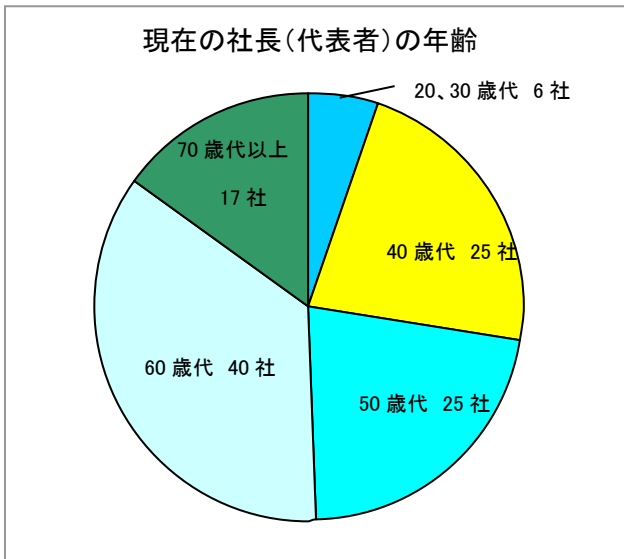
特別調査

中小企業経営者と「人生 100 年時代」

◆社長（代表者）は、今後の 10 年先の自社の経営について、どのように展望していますか。
また、現在の社長（代表者）の年齢はいくつですか。

(回答企業数：113 社)

(回答企業数：115 社)
(単位：社)

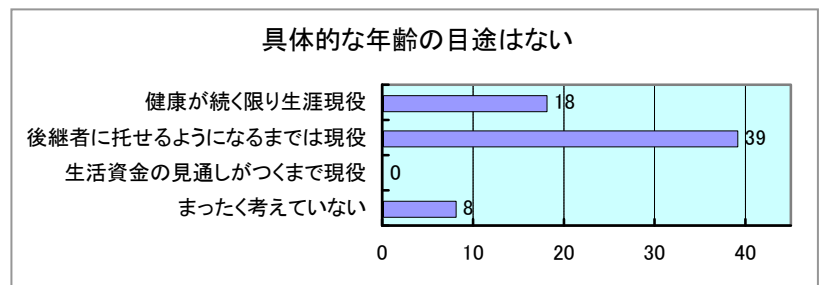
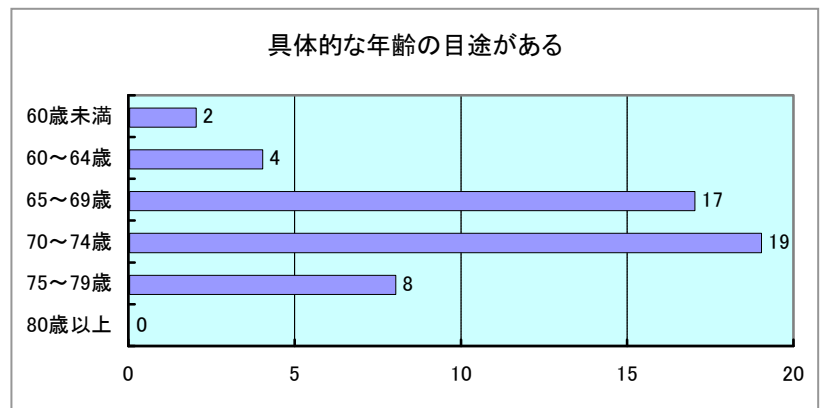
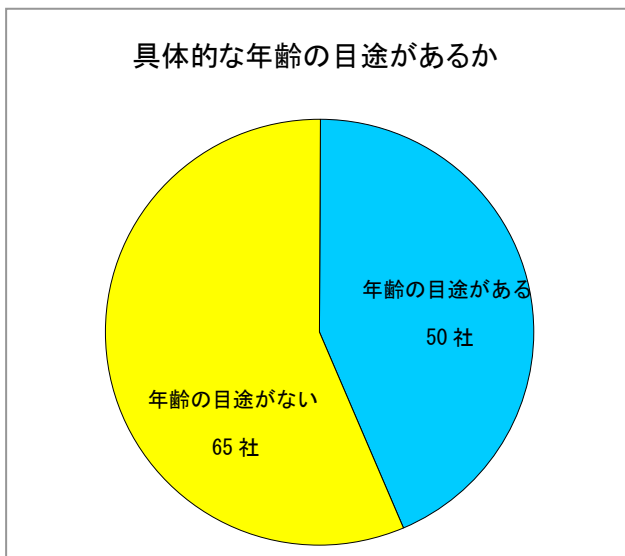


今後の 10 年先の自社の経営については「現状維持・横ばい」と回答した企業が最も多く、44 社 (38.2%) となり、次いで「事業拡大」と回答した企業が 42 社 (36.5%) となりました。対して「事業縮小」と回答したのが 9 社 (7.8%) となりました。10 年先の自社の経営に明るい展望を持っている企業が多いことが窺えます。

また、現在の社長（代表者）の年齢は「60 歳代」が最も多く、40 社 (35.3%) となりました。

◆「人生 100 年時代」という言葉が生まれるなど、健康寿命の長期化に社会的関心が高まる中で、今後、経営者が現役で活躍する年齢は高まっていくものと考えられます。そのような中、社長（代表者）は経営者としていつ頃まで現役を続けたいとお考えですか。(回答企業数：115 社)

(単位：社)

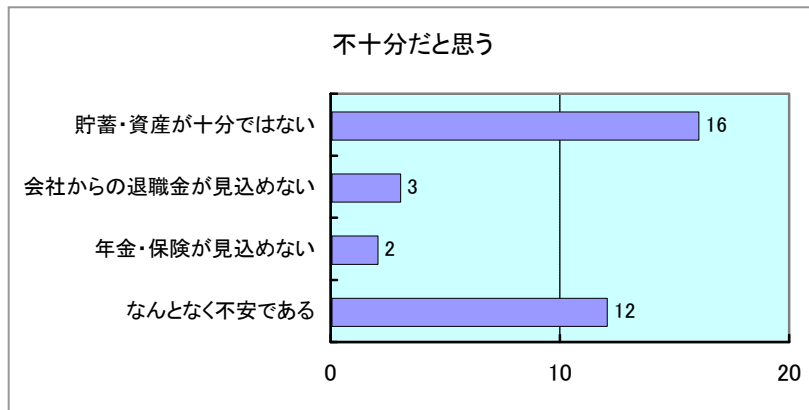
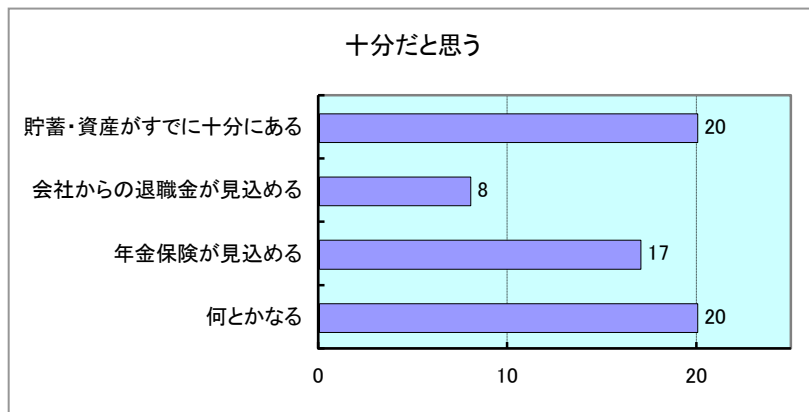
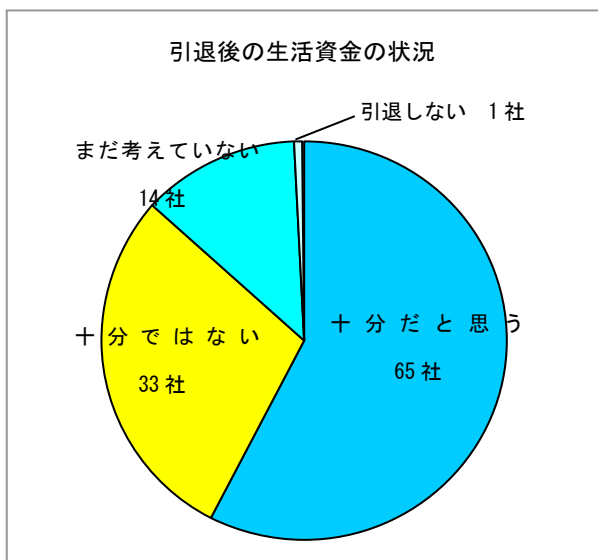


経営者がいつ頃まで現役を続けたいと考えているのかについて、「具体的な年齢の目途がある」と回答した企業は 50 社（43.4%）となり、「具体的な年齢の目途がない」と回答した企業は 65 社（56.5%）となりました。具体的な年齢の目途があると回答した企業の中で、「70～74 歳」と回答した企業が最も多く、19 社（38.0%）となりました。また、経営者が「70 歳以上」まで現役で活躍すると回答した企業が 27 社（54.0%）に対して、「70 歳未満」と回答した企業が 23 社（46.0%）となり、経営者が 70 歳以上まで現役で活躍する企業が半数以上になりました。

具体的な年齢の目途はないと回答した企業の中で、「後継者に托せるようになるまでは現役」と回答した企業が最も多く、39 社（60.0%）となりました。

◆社長（代表者）は、経営者を引退した後の生活資金についてどのようにお考えです。
（回答企業数：113 社）

（単位：社）

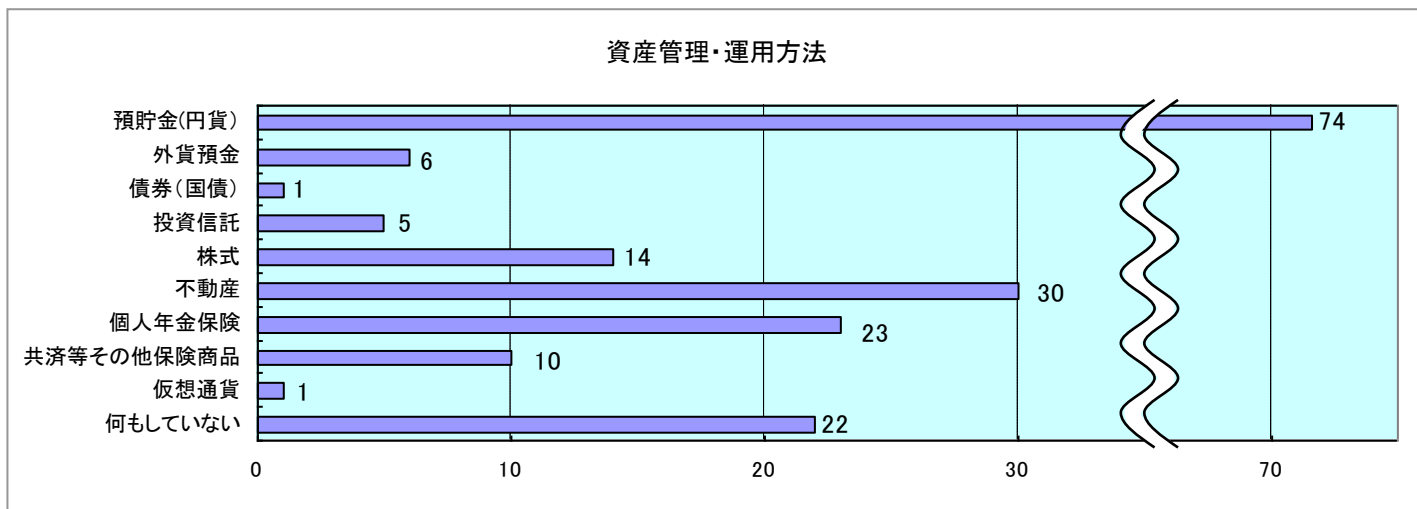


経営者を引退した後の生活資金について、「十分だと思う」と回答した企業が 65 社（57.5%）に対して、「十分ではない」と回答した企業が 33 社（29.2%）となりました。引退した後の生活資金が十分だと考える理由として、「貯蓄・資産がすでに十分にある」、「何とかなる」と回答した企業がそれぞれ 20 社（30.7%）となりました。引退した後の生活資金が不十分と考える理由として、「貯蓄・資産が十分ではない」と回答した企業が 16 社（48.4%）となりました。

一方で、「まだ考えていない」と回答した企業が 14 社（12.3%）となりました。

◆「人生 100 年時代」を見据えて、社長（代表者）は、個人としてどのような資産管理・運用をしていますか。（複数回答）（回答企業数：112 社）

（単位：社）

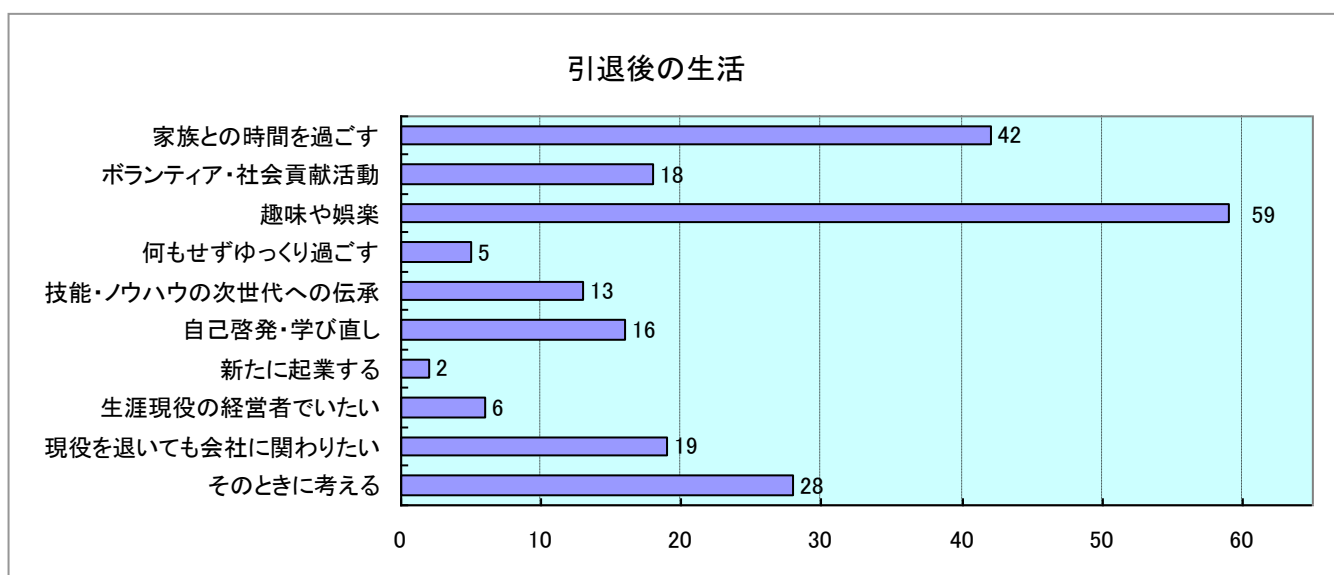


社長（代表者）は、個人としてどのような資産管理・運用をしているかについて、「預貯金（円貨）」と回答した企業が最も多く、74 社（66.0%）となり、次いで、「不動産」と回答した企業が 30 社（26.7%）となりました。資産管理、運用は価値が変動する「株式」、「投資信託」等よりも、比較的安定した「預貯金（円貨）」、「不動産」で管理、運用する社長（代表者）が多いことが窺えます。

また、「何もしていない」と回答した企業も 22 社（19.6%）となりました。

◆「人生 100 年時代」を見据えて、社長（代表者）は、現役を退いた後の生活イメージについて、描いているものはありますか。（複数回答）（回答企業数：113 社）

（単位：社）



現役を退いた後の生活イメージについて、「趣味や娯楽」と回答した企業が最も多く、59 社（52.2%）となり、次いで「家族との時間を過ごす」と回答した企業が 42 社（37.1%）となりました。

調査員のコメント

製造業

- 売上、収益共に増加しており、資金繰りも安定しているが、人手が不足しているため、求人を出している。(精密製品製造業)
- 原材料の高騰により、仕入価格が上昇し、利益を出しにくい状況である。また、人材不足もあり、自動運転設備の投資も検討している。(アルミ製造業)

卸売業

- 従業員の高齢化が進んでいる。業況は大手との競合が厳しく、販路拡大が課題である。(建築資材販売業)
- 売上は増加しているが、仕入、輸送コスト等を価格に転嫁ができない。(包装資材販売業)

小売業

- 7、8月は毎年、車の販売が低調な時期であるが、人気の車種は安定した売上がある。一方で新型車の販売の反応が鈍い。今後は販売だけではなく、点検、修理においても安定した利益を確保できるよう顧客との関係作りに注力していく方針である。(自動車販売・整備業)

サービス業

- 秋の行楽シーズンに向け、天候の状況が一番気になるところである。休日が天候不順だと売上に直接関わる。宣伝、広告に力を入れ、増加している観光客の集客に努力している。(ゴルフ等レジャー業)

建設業

- 公共工事を中心に受注し、業況は安定しているが、諸経費の増加や地域産業の衰退の中で経費削減や技術力の向上の必要性を感じている。(土木工事業)

不動産業

- 駅周辺の地価が高騰しつつあり、仕入価格が上昇。路線価格と乖離が激しく適正価格での仕入が厳しい状況である。(不動産販売業)
- 消費税増税前の駆け込み需要があり、住宅の分譲に注力し、売上増加に努める。(不動産販売業)

☆山梨県、神奈川県(相模原地区)トピックス(10~12月期)

10月

山梨うまいもの市 2018 in フルーツ公園 (開催日: 10月20、21日)

⇒山梨特産のご当地グルメが一堂に会し開催されます。ブースが出店するほか、キャラクターショーなども行われます。

【交通アクセス】会場: 笛吹川フルーツ公園 (山梨市曾原 1488)

JR中本線「山梨市駅」より車で約7分

中央自動車道「一宮御坂IC・勝沼IC」より約30分 駐車場あり

富士河口湖もみじマーチ (開催日: 10月20、21日)

⇒2日間にわたり、「富士山世界遺産」の構成資産を歩き、富士河口湖の自然と文化を満喫していただく、ウォーキング大会となっています。

【交通アクセス】会場: 河口湖ステラシアター (南都留郡富士河口湖町船津 5577)

中央自動車道「河口湖IC」より約5分

潤水都市さがみはらフェスタ 2018 (開催日: 10月20、21日)

⇒昨年は21万人の来場者があり、ラーメングランプリやステージイベント等あり、相模原市の様々な魅力を伝えるイベントになっています。

【交通アクセス】会場: 相模総合補給廠一部返還地 (相模原市中央区小山)

JR横浜線「相模原駅」北口より徒歩5分

11月

甲州街道小原宿本陣祭 (開催日: 11月3日)

⇒江戸時代に参勤交代の行われた宿屋「小原宿」の栄華が再現され、大名行列をはじめ、本陣太鼓の演奏、本陣祭での野だてなど往時が甦るお祭りです。

【交通アクセス】会場: 県指定重要文化財小原宿本陣周辺 (相模原市緑区小原 698-1)

JR中央本線「相模湖駅」より徒歩20分

信玄堤公園のケヤキ紅葉ライトアップ (開催日: 11月11日~19日)

⇒紅葉の美しい時期に、歴史的資源である信玄堤公園のケヤキ並木やもみじをライトアップします。昼間とは違う幻想的な空間を作りだし、多くの人に憩いの場を提供します。

【交通アクセス】会場: 信玄堤公園 (甲斐市竜王 1989)

中央本線「竜王駅」より徒歩25分

中央自動車道「甲府昭和IC」より約10分

11月

甲州富士川祭り（開催日：11月11日）

⇒富士川町郷土料理「みみ」やつきたてのお餅の販売、気球搭乗体験や駅伝も催され、たくさんのお店が並び、当金庫も出店予定となっています。また、今年から新たに「中国雑技 & アクロバット」や「ボロ電特別企画展」も催す予定となっています。

【交通アクセス】会場：利根川公園スポーツ広場（富士川町小林 1778 番地）
中部横断道「増穂 I C」より約 5 分

リニアと翔る都留ロードレース大会（開催日：11月18日）

⇒ほのぼのとした「つる」の景観を目で楽しみ、さわやかな秋風に包まれて、美しい自然を耳で感じ取ることのできるコースとなっています。

【交通アクセス】会場：道の駅つる（都留市大原地内）
中央自動車道「都留 I C」より約 15 分

津久井湖湖上祭（開催日：11月18日）

⇒職業体験や働く車の展示、地元特産品を盛り込んだ飲食販売、地元で活動する各種団体や子供たちが躍動するステージイベントなどを行います。そして最後は、迫力満点の数千発の花火を打ち上げる予定となっています。

【交通アクセス】会場：県立津久井湖城山公園水の苑地（相模原市緑区城山 2-9-7）
さがみ縦貫道（圏央道）「相模原 I C」より約 15 分 駐車場あり

12月

大塚にんじんの収穫祭（開催日：12月初旬の土曜日）

⇒当日はにんじん販売はもちろん、品評会や試食コーナー等さまざまなイベントが行われます。歌舞伎文化公園、役場三珠庁舎からシャトルバスも運行されます。

【交通アクセス】会場：みたまの湯（市川三郷町大塚地内）
中央自動車「甲府南 I C」より約 20 分 駐車場あり

編集後記

このたびの中小企業景気動向調査においては、お忙しい中、ご協力賜りまして誠にありがとうございました。

今回の調査では、業況判断DIが前期比3.5ポイント改善の2.6となりました。また、来期の見通しについては、今期実績比4.2ポイント改善の6.8と改善が見込まれています。

今回の特別調査では「中小企業経営者と「人生100年時代」と題して調査をいたしました。日本全体で高齢化社会が進んでいるなか、経営者においても、70歳以上まで現役で活躍する企業が半数以上となりました。また、現役を引退した後の生活については、引退後の生活資金への備え等の生活イメージを持っている社長（代表者）が多いことが窺えました。

当金庫におきましても、今後ともお客様の年代のライフスタイルに応じた商品・サービス提供や各種情報提供にも一層、努めてまいります。

また、山梨県、神奈川県（相模原地区）の情報やイベント等を掲載しております。イベント等につきましては、近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

その他、地域の事業者が抱える様々な課題に対しましても積極的にご支援していく所存ですので、お気軽に当金庫営業店または担当者までご相談ください。